

2004年6月3日

情報電子材料分野における事業の「選択と集中」について

住友化学は、新しい中期経営計画に掲げる「選択と集中」を加速させる事業方針に従い、このたび、情報電子材料分野において、情報家電向け表示材料および電子部品材料分野に一層資源を集中させていくという方向性をより明確にするため、2つの事業を戦略的に再編するとともに、顧客重視の姿勢をより徹底すべく品質保証体制の充実を含めた組織体制の変更ならびに情報電子化学品研究所の体制強化を行うことといたしました。

(1) 事業再編に関しましては、

①液晶ポリマーの愛媛工場の生産能力（現行3,000トン/年、この他にグループ会社である田岡化学工業株に1,000トン/年の能力を持つ）を漸次引き上げ、2006～2007年に現行能力の倍である6,000トン体制を確立いたします。これは、液晶テレビ用バックライト向けのボビン用途など、需要が今後世界的に大きく伸長することをふまえたものです。まず、第一段階として2005年春に愛媛工場の能力を4,500トンへ引き上げることとし、既に増強工事に着手いたしました。

②一方、長らく継続してきた半導体封止材用オルソクレゾールノボラック型エポキシ樹脂事業（生産能力7,500トン/年）について、本年10月をもって同業界のリーディングカンパニーの1社である長春人造樹脂廠股份有限公司（本社 台湾・台北市）へ事業譲渡し、同社に当社技術等を全面的に継承することといたしました。これに伴い同事業に投入していた人材等の経営資源については、表示材料分野等の重点分野に再配分してまいります。

(2) 組織体制の変更につきましては、本年7月を目途に、次のとおり組織の新設と組織名称の変更を実施することといたしました。顧客に満足いただけるマテリアル・ソリューションの実現を目指し、情報電子材料分野の品質保証を一元的に管理・運営できるよう組織体制を強化するとともに、事業の選択と集中を加速させるという事業方針をふまえ、事業部組織の名称を重点分野を明示した名称へと変更するものです。

(新設)	「情報電子化学品品質保証室」	
(変更前)	「半導体プロセス材料事業部」	→ (変更後) 「半導体・表示材料事業部」
	「電子材料事業部」	→ 「電子部品材料事業部」

(3) 光学機能性フィルムの研究を充実し、部材や加工技術の開発スピードをさらに加速させるとともに、顧客志向の研究開発を一層効率的に進めるべく、2005年春を目途に当社愛媛工場敷地内に新研究棟を設立することといたしました。同研究棟に最新の試作機器、評価機器を導入し、研究員についても中期経営計画期間中に50%程度の増員を図ることにより顧客のニーズに的確かつタイムリーに 대응してまいります。

住友化学は、カラーフィルターや光学機能性フィルムといった液晶材料をはじめ、フォトレジスト、液晶ポリマーなど情報電子材料分野で積極的に投資を行ってきています。こうしたなか、中期経営計画の取り組み方針に則り、より加工度の高い高付加価値製品の開発を中心とする「マテリアル・ソリューション・ビジネス」を推進すると同時に、事業の「選択と集中」を通じて経営資源の最適配分を図り、戦略的かつダイナミックな事業運営を一層強化していく考えです。今回の事業再編、組織体制変更および研究体制強化は、重点分野においてより積極的かつタイムリーに事業展開を進めることにより、顧客満足度の高い「創造的ハイブリッド・ケミストリー」による事業運営を加速していくものです。

以上